



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町491番地 電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451 E-mail:tamamoro-e@kofu-ymn.ed.jp

創立 明治5年
1872年

令和3年(2021年)9月22日

発行責任者 校長 山本英寿

全国学力・学習状況調査における本校の状況

本年度の「全国学力・学習状況調査」は、5月27日に全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施されました。小学校6年生については、国語と算数の2教科で行われました。

この調査は、児童の学力や学習状況を把握し、その結果を分析することで、県や学校ごとの課題を明らかにすることにより、今後の指導の充実や授業改善等に役立てることを目的としています。調査内容は、①教科(国語・算数)に関する調査、②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査で構成されています。なお、国語・算数では、令和元年度から従来の「知識」に関するA問題と、「活用」に関するB問題の区分がなくなり、「知識」と「活用」を一体的に問う問題が出題されています。

本校では、文部科学省から送付されてきた調査結果をもとに、詳細な分析を進めてきました。その結果がまとまりましたので、お知らせいたします。なお、調査に参加した6年生の保護者の皆様には、個別懇談の折りに、個人票をもとに学力の状況や、成果と課題等について具体的にお伝えする予定です。

1 学力調査の結果

本校の教科に関する調査の平均正答率は、国語については、全国平均・県平均の正答率を上回る結果となり、標準的な力が身に付いているといえます。算数については、全国・県平均と同等の状況であり、概ね基礎基本の定着が見られます。また、国語・算数における記述式の問題では、課題が見られました。今後も、学んだ知識技能を活用し、思考・判断・表現する能力を高めることが重要であると考えます。

質問紙調査からは、自己肯定感、規範意識の高い児童が多く、やる気をもって学校生活を過ごしていること、家族や友達との関係が良好な児童が多く、安定した環境で生活できていることが読み取れました。また、地域行事や社会への関心が高いこと、全ての学習や家庭での学習にも意欲的に取り組んでいることがうかがえました。一方、ICTを利用した学習などについては、課題が見られました。

令和3年度 全国学力・学習状況調査 教科別平均正答率

	国語	算数
全 国	64.7	70.2
山 梨 県	63	68
玉 諸 小	◎	○

◎：全国・県平均を上回っている

○：全国・県平均と同等

△：全国・県平均を下回っている

※ 平成29年度から、県及び各学校等の平均正答率は整数値で発表されています。



学校だよりのHP版を
ご覧いただけます。



2 各教科の状況より

□ 国語

【領域別の状況】

◇ 「話すこと・聞くこと」

・「目的に応じ、話の内容を明確にするようにスピーチの構成を考える」設問、「資料を用いた目的を理解する」設問等の正答率が高い値でした。

◇ 「書くこと」

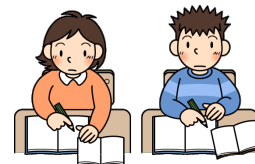
・「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」設問、「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」設問の正答率が高い値でした。

◆ 「読むこと」

・「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」設問、「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」設問で課題がありました。

◆ 「言語の特徴や使い方に関する事項」

・「漢字を文の中で正しく使う」設問、「文の中における主語と述語との関係を捉える」設問、「文の中における修飾と被修飾語との関係を捉える」設問で課題がありました。



今後の取り組み

国語では、課題点について次のように取り組めます。

○「読むこと」→ 文章の中の重要な語や文に線を引いたり、色分けしたりして文章の内容を捉えさせる指導や文章の中心となるところを明らかにしてまとめたり、自分の考え等の理由を明らかにして書いたりする指導など、言葉に着目し言葉を大切にしたいきめ細かい丁寧な指導を行っていきます。

○「言語の特徴や使い方に関する事項」→ 漢字の習得については、継続的な反復練習だけでなく、短文作りなど活用を意識した取り組みも行っていきたいと考えています。さらに、中学年のうちから日常的に、学習感想・スピーチメモ・板書のまとめのときなどにも、既習の漢字を使って書くことを意識させていきます。そして、文章中の主語・述語・修飾語等の言葉を正しく捉える力も大切になります。授業の中で文の構成について正しく理解する場面を増やすことや、作った文章を振り返り、推敲する時間を確保していきたいと考えています。

国語科は、様々な事物、経験、思い、考えなどを、言葉を使って理解し、どのように表現するのかということを学ぶ教科です。つまり、言葉で考え、表現する能力を育成する教科であるといえます。今後もさらに言語活動（書く活動、発表する活動、話し合う活動等）の充実を図り、児童の国語力の向上を目指します。

□ 算数

【領域別の状況】

◆ 「数と計算」

・「8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く」問題、「二つの道のりの差の求め方と答えを書く」問題で課題がありました。

◆ 「図形」

- ・「直角三角形の面積を求める式と答えを書く」問題、「二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く」問題で課題がありました。

◇「測定」

- ・「午後1時35分から50分後の時刻を書く」問題では、正答率が高い値でした。

◆「変化と関係」

- ・「速さを求める除法の式と商の意味を理解している」設問、「速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる」設問で課題がありました。

◆「データの活用」

- ・帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」設問で課題がありました。



今後の取り組み

算数では、課題点について次のように取り組めます。

○「数と計算」→ 計算力の向上を目指し、ドリル等の継続的な取組を工夫していきます。また、計算の仕方を考えることや、式の意味を図など具体的なものを使って適切に解釈できるよう指導の充実を図っていきます。

○「図形」→ 図形の性質や構成要素に着目して、図形の面積の求め方を考えさせる際に、具体物を用いたり、図や式、言葉を用いたりして考える作業的な活動を授業で多く取り入れていきます。

○「変化と関係」→ 割合、基準量、比較量の関係を捉えられるように、数量の関係を図や数直線等に表す学習活動を取り入れ、それらの図を用いて思考の過程を説明させたり、他の児童がかいた図や数直線等を解釈して説明させたりするなど指導を工夫していきます。

○「データの活用」→ 標題や単位、目盛りなど、グラフを正しく読ませ、グラフを見て考えたことを理由や根拠を挙げて説明させる活動を多く取り入れいきます。また、帯グラフや円グラフなど、グラフの意味の理解を深め、全体と部分、部分と部分の関係を捉える指導を工夫していきます。

算数科においても、言語活動の充実が重要だと考えます。国語科などで培われた言葉による表現とともに、数、式、図、表、グラフといった数学的な表現の方法を用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れていきます。

3 生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査から

◇ 全国や県と比較し良好と思われる(大きく上回っている)項目

【豊かな人間性（自己肯定感、規範意識等）に関すること】

- ・ 将来の夢や目標を持っている。
- ・ 自分にはよいところがある。
- ・ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ・ 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの良さを生かして解決方法を決めている。

自己肯定感、規範意識の高い児童、ものごとを前向きにとらえ積極的に取り組む児童が多く、やる気を持って学校生活を送っていることがうかがえます。また、児童が教員の指導や児童への関わり方に対して肯定的にとらえている傾向が見られ、良好な人間関係を築くことができていると言えます。さらに、よりより学校生活を過ごすため、学級で協力し合って生活していることも見て取れます。これらのことが安心して学校生活を送る基盤となり、落ち着いた学習・生活態度に表れていると考えられます。

【基本的な生活習慣・社会への関心等に関すること】

- ・ 朝食を毎日食べている。
- ・ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・ 家の人と話をしている。
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加している。

家族との関係、友達との関係も良好な児童も多く、安定した環境で生活を送ることができていることがうかがえます。これからもご家庭で温かく励まし、見守っていただきたいと思います。また、このコロナ禍の中で、地域の行事等が実施できない状況が続いておりますが、今後も地域の行事への参加についての啓発活動を一層推進し、地域を誇りに思う心や地域とともに学習する基盤をしっかりと整えていきたいと考えています。

【授業、学習習慣に関すること】

- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする。
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まできくことができている。
- ・算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- ・算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。



宿題等に真面目に取り組み、自分で計画を立てて、家庭学習に積極的に取り組んでいる児童の割合が全国・県平均と比べて大きく上回っています。また、平日に1時間以上家庭学習をしている児童の割合も高く、家庭学習への積極的な取り組みが学力の定着、向上により影響を与えていると考えられます。これからも「学年×10分+α」の家庭学習の定着をご家庭と連携しながら推進していきたいと考えています。学校においては、今後も甲府市教育委員会が推進している「甲府スタイル」を取り入れた授業づくりをはじめ、児童の学習意欲を喚起し、学習内容の活用を意識できる授業づくりに取り組んでいきます。

◆ 全国や県と比較し課題と思われる項目

【授業に関すること】

- ・コンピュータなどのICT機器を月1回以上使用している。
- ・コンピュータなどのICT機器を他の友達と意見を交換したり、調べてたりするために使用している。

今年度、本校においてもGIGAスクール構想の展開により、ICT活用の取り組みを進めています。すでに全校の児童は、一人一台端末を使い、その使い方について学習をしています。今後、学習ソフト等を使っての個別指導、デジタル教材を用いた思考を深める学習、インターネットを用いた情報収集、写真や画像等による記録など、ICT機器を活用した「わかりやすい授業」を実践していきます。

ご家庭の皆様へ

本年度の全国学力・学習状況調査の結果から、本校の児童が夢や希望を持って、友達とともに意欲的に学校生活・家庭生活を送っている様子が見て取れ、学習面・生活面ともに着実に成長していることが分かりました。これらは、ご家庭での教え、支えがあればこそのことです。

特に、質問紙調査にある「授業以外に普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」の問いにおいて、「1時間以上」と答えた割合が年々増え、本年度も9割を超えました。これも、ご家庭のご協力による成果だと思えます。

今後も本校では、子どもたちが自主的に学習に取り組むことができるよう積極的に働きかけを行ってまいりますので、ご家庭におきましても家庭学習の習慣が一層定着できますよう、「家庭学習のてびき」を参考にして学習環境を整え、声かけをしていただくなどのご協力をお願いします。激しい変化が予想されるこれからの時代に必要な、「自ら進んで学ぶ」気持ちや、「学ぶことが楽しい」と思える玉諸小児童を育てていきたいと考えています。今後とも、より充実した教育活動を行っていくことができますよう、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。